



清吟堂吟友会 出雲ブロック会報

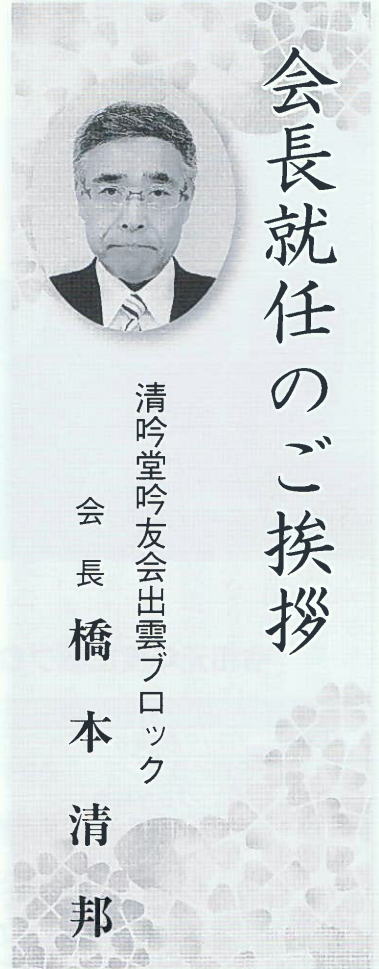
信 条

- 詩歌を吟じて 楽しみましょう
- 詩歌を吟じて 美しいしょう
- 詩歌を吟じて 明るくしょう
- 詩歌を吟じて 郷土を築きましょう

発行 清吟堂吟友会出雲ブロック 広報部 第23号

令和元年6月1日

会長就任のご挨拶



清吟堂吟友会出雲ブロック

会長 橋本 清邦

新緑が目まぶしい今日この頃、
会員の皆様にはますますご健勝に
て、吟道に精進されていることと
慶び申し上げます。

去る四月六日、出雲市民会館にお
いて通常総会が開催されました。本
年度は役員改選の年に当たり、不肖
私が会長に選任され大役を務めるこ
とになりました。微力ではございま
すが、その責務を果たせるよう精
いっぱい努力する所存でございま
す。ご指導ご鞭撻を宜しくお願い致
します。

前任の土江会長には、指導者の育
成、新支部の開設、ブロック運営の
見直し等、組織拡大に多大なご尽力
を頂きました。心より感謝申し上げ
ます。

これまでの土江会長の「信条に
沿った活動方針」を継承し、活力あ

る吟詠活動ができるよう、施策を講
じてまいります。

新役員の皆さんには、事業推進に
ご苦労をおかけいたしますが、力を
貸していただきたく宜しくお願い申
上げます。

今年度は次のようなことに取り組
みたいと考えています。

一、合吟をもっと楽しもう

- ・ 協調して詩歌を表現する合吟
のレベルUPで個人も向上、
発表の場を増やしていきたい

二、指導者研修会のテーマ選定検 討と対応

- ・ テーマを持って研究・勉強で
きる場にもしたい

三、会員増強のための施策検討と 実施

- ・ 会員増につながる具体的な取
り組みを継続していきたい

又、今年度は島根東部寿栄大会が
当出雲地区で開催されます。安来・
松江の皆さんを迎え、会員相互の交
流を図り素晴らしい大会になるよう
企画・運営していきましょう。

作家の吉沢久子さん（九十四歳）
は、「人の体力とか注意力は、日々
ほどよく訓練されていないと萎えて
いくのではないだろうか。」と著書
に執筆されています。

身軽にできて奥深く、伝統ある吟
詠音楽を楽しみ、励むことが訓練に
もつがるのではないのでしょうか。

会員の皆様のご健康とご多幸を御
祈念申し上げます、会長就任の挨拶
とさせていただきます。



平成三十一年度出雲ブロック総会開催 新役員体制がスタート

島根県知事・県議選挙を翌日に控えた陽光下の四月六日(土)出雲市民会館研修室において、本年度のブロック総会が開催され、通常議事の他、役員改選があり新役員体制がスタートしました。

総会では、昨年度の事業・決算報告並びに新年度の事業計画・予算案が審議され、全会一致で承認されました。

また、本年度は役員改選年度に当たり、土江清眞会長から辞任表明が為され、選考委員会の選考の結果、橋本清邦氏を新会長とする新年度の体制がスタートしました。

退任される土江前会長におかれは、七年の長きにわたり、ブロックの組織強化・運営にご腐心を頂き、殊に四十周年大会の盛り上がり象徴される組織の基盤固めにご指導・ご尽力をいただきました。

新年度は、橋本新会長のもと、副会長には、長きにわたりお世話頂いた村田麗友氏が退任され、留任される高野公風氏のほか、新たに桑原青風氏ならびに佐藤麗雪氏が選任され

ました。

また常任顧問には、高田清慶氏に続き、会長を退任された土江清眞氏ならびに長らく指導研修局長としてブロックの吟詠力向上に尽くして頂きました森山清雲氏が新たに選任されました。新年度の役員、行事予定は、下表のとおりです。

新たな体制のもとで、会員一同が一致協力し、ブロックの更なる吟詠の輪が広がる事を期待します。



令和元年度出雲ブロック行事予定

月日	行事	場所
4/ 6(土)	ブロック通常総会・ブロック支部長会	出雲市民会館
4/13(土)	全国吟詠コンクール島根県大会	大田市民会館
5/11(土)	ブロック支部長会	
5/19(日)	本部常任理事会・本部通常総会	松山いよてつ会館
6/ 1(土)	ブロック支部長会	
6/ 9(日)	吟士権出雲地区吟詠大会	斐川文化会館
7/ 6(土)	ブロック支部長会	
7/ 6(土)	会員増強対策会議第1回	
7/15(月・祝)	(財)全国吟詠コンクール中国大会	山口南総合センター
7/28(日)	島根県東部吟士権決勝並びに指導者吟詠大会	安来市
8/ 3(土)	ブロック支部長会	
8/18(日)	(財)吟詠特別研修会	岡山県玉島文化センター
8/25(日)	吟士権並びに指導者決勝大会	松山市
9/ 7(土)	ブロック支部長会	
9/15(日)	島根県東部審査員研修会	
10/ 4(金)	第66回清吟堂吟剣詩舞道大会	松山市民会館
10/ 5(土)	ブロック支部長会	
10/13(日)	寿栄大会	朱鷺会館
11/ 2(土)	ブロック支部長会	
12/ 1(日)	出雲地区段位審査会	斐川文化会館
12/ 7(土)	ブロック支部長会	
1/11(土)	ブロック支部長会	
1/11(土)	会員増強対策会議第2回	
1/19(日)	ブロック新年賀会	
2/ 1(土)	ブロック支部長会	
2/29(土)	3月のブロック支部長会	
3/ 7(土)	令和元年度育成吟詠出雲地区大会	斐川文化会館

令和元年度出雲ブロック役員

役職名	部長	副部長
会長	橋本清邦	
副会長	高野公風	
副会長	桑原青風	
副会長	佐藤麗雪	
事務局長	高橋充男	
事務局 事務担当部	錦織 勇	板垣麗香
// 育成担当部	原 實風	三成俊風
// 吟士権担当部	石飛海風	増田昇風
// 段位担当部	青木深風	来間来風
// 寿栄担当部	石飛雅風	石飛 勝
// 会計担当部	矢田麗実	坂本真理子
指導研修局長	村田麗友	荒木麗幸
指導研修局 伴奏担当部	曾田麗翠	安部麗雨
// 剣詩舞担当部	土江麗松	吉田滉風
組織運営部	橋本清邦	岩谷麗芙
女性部	吉田麗篤	飯谷麗和
広報部	樋野朝生	石崎郷風
会計監事	布野年風	
会計監事	平野麗美	
常任顧問	高田清慶	
常任顧問	土江清眞	
常任顧問	森山清雲	



退任のご挨拶

土江 清眞

新緑の野山に萌える今日この頃ですが、会員の皆様には益々ご健勝で吟詠活動にご精励のこととお慶び申し上げます。

去る四月六日出雲市民会館において開催されました第四十二回通常総会におきましてブロック会長を退任致しました。私は平成二十四年より、三期半 七年間に亘りましてブロック会長という重責を担わさせていただきましたが、この間、会員の皆様方の力強いご支援とご協力によりまして、どうにか大過なく務めることができましたことに對し、心から感謝とお礼を申し上げます。

私は、就任当初に所信として申し上げておりましたブロック運営は、出来るだけガラス張りで民主的な運営に心掛けること、また清吟堂吟友会には立派な信条

がありますので、ただ単に唱和するだけではなく具体的な形で展開・実践し、会員の皆様方が吟詠を嗜む意義を実感していただくこと、ブロックの維持・運営には指導者の役割が極めて重要であり、欠員が出ないよう後継指導者の育成と指導体制の充実強化を図ること、そして親しみ易く魅力的な出雲ブロックを目指して常に反省を踏まえた改善・見直しを行ってゆくこと、等に会員の皆様のご理解とご協力を得て注力することができました。

また、一昨年に開催しました「ブロック創立四十周年記念大会」のあの感動的で心に残る、正に出雲ブロックの底力を存分に発揮していただいた素晴らしい大会を開催できたことは、会員各位のご支援とご協力によるものと改めて厚くお

礼申し上げる次第であります。私の後継者には、幸い若くて吟歴豊富な橋本清邦会長が誕生いたしましたので、今後は橋本新会長をぜひ盛り立てていただき、一致協力して楽しい吟詠活動の実践とブロックの更なる飛躍・発展にご精進いただきませう祈念いたしまして退任のご挨拶といたします。

長い間どうも有難うございました。

私の後継者には、幸い若くて吟歴豊富な橋本清邦会長が誕生いたしましたので、今後は橋本新会長をぜひ盛り立てていただき、一致協力して楽しい吟詠活動の実践とブロックの更なる飛躍・発展にご精進いただきませう祈念いたしまして退任のご挨拶といたします。

長

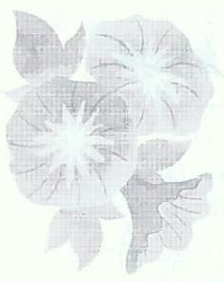
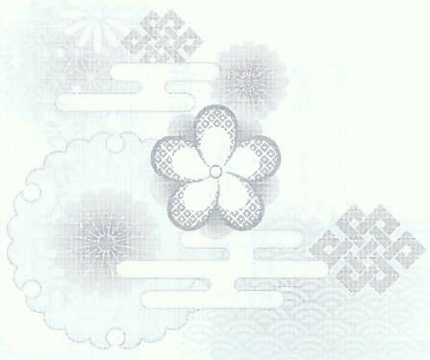
会員増強奨励表彰

平成三十一年一月二十日、出雲ブロック新年賀会において会員増強に尽力された十名が、土江ブロック会長より表彰を受けられました。あわせて、新規入会の出席者から、入会の経緯、今後の抱負などの心強い自己紹介がありました。

表彰された方

入会された方

- | | |
|---------------|---------------|
| 三島 勝吉 (国富) | 川瀬 紘一 (国富) |
| 高野 真哲 (JAいずも) | 吾郷 正人 (JAいずも) |
| 布野 麗華 (出雲中央) | 廣戸登喜枝 (出雲中央) |
| 山崎智恵美 (琴引第二) | 原田 朋子 (琴引第二) |
| 板垣 麗香 (佐田) | 神田 美恵 (佐田) |
| 石飛 雅風 (ラピタ) | 藤江 基 (ラピタ) |
| 勝部 麗京 (琴引) | 勝部 信芳 (ラピタ) |
| 桑原 青風 (蛇島) | 後藤 寿江 (琴引) |
| 田畑 晴美 (あじさい) | 矢田三代治 (稗原) |
| 吉田 麗篤 (稗原) | 原田 育枝 (あじさい) |
| | 森山 佳江 (稗原) |



平成三十一年度 育成吟詠大会開かる

於…斐川文化会館

平成三十一年二月十七日、育成吟詠大会が開催され、次の方々が入賞されました。

新人・準初段の部

- 入賞 原田 育枝(あじさい)
- 吾郷 正人(JAいずも)
- 佳吟賞 神田 美恵(佐田)

初段の部

- 入賞 川瀬 紘一(国富)
- 常松 悦子(里方第二)
- 佳吟賞 原田 朋子(琴引第二)

二段の部

- 入賞 大野 利夫(ラピタ)

三段の部

- 入賞 三原 愛子(琴引)

- 伊藤 美雪(あじさい)
- 高野 真哲(JAいずも)
- 高橋 行則(斐川)
- 多々納 均(斐川)
- 大輝 孝志(四絡)
- 勝部恵美子(六道)

佳吟賞

- 佐藤 慶治(神名火)
- 佐藤 弘美(西平田)
- 渡部 実(平田第二)

四段の部

入賞

- 児玉 春雄(稗原)
- 橋本 泰明(平田東)
- 樋野 朝生(斐川)
- 山崎智恵美(琴引第二)
- 須山 昌(今市)
- 金崎かよ子(四絡)
- 別木 由枝(頓原)
- 石飛 勝(ラピタ)
- 高橋まゆみ(平田第二)
- 寺本 進一(蛇島)

五段の部

入賞

- 三成 麗歳(西平田)
- 鐘推 義風(JAいずも)
- 藤原 麗葉(富)
- 門脇 麗満(富)
- 板垣千佳子(佐田)
- 飯野 鋭風(神名火)
- 佳吟賞 藤江 蘭風(ラピタ)
- 勝部 麗弘(六道)
- 濱田 孝風(斐川)

佳吟賞

- 古川 久枝(富)
- 高橋 律子(清吟出雲)
- 中島タイ子(富)
- 落合早智子(平田第二)

平成31年度

全国吟詠コンクール島根県大会の結果

去る四月十三日(土) 大田市民会館において、全国吟詠コンクール島根県大会が行われ、出雲ブロックから出場の入賞者は次のとおりでした。

中国大会は、七月十五日(月・祝) 山口市の山口南総合センターで行われます。なお、この大会は、段位、吟号等の区別が無く、年齢区分のみで部門が分けられ、本名で出場する大会です。

一般一部 入賞者

- 優勝 加谷真理子(吉場)

中国大会出場

- 準優勝 勝部美穂子(琴引)

中国大会出場

- 三位 杉原 由佳(御衣黄)

中国大会出場

一般二部 入賞者

- 準優勝 曾田恵美子(平田第二)

中国大会出場

- 入賞 錦織 千枝(里方第二)

中国大会出場

- 入賞 橋本 邦夫(平田東)

一般三部 入賞者

- 入賞 周藤 恭子(平野第二)

平成三十年度 全国吟詠合吟コンクール に参加して(第三位入賞)



島根県女子チーム

里方第二支部 錦 織 千 枝

「第三位入賞、三十三番清吟堂吟友会女子!」「本当?嘘じゃないよね?やったあ!」

平成最後、そして財団創立五十周年記念の全国吟詠合吟コンクールが日本武道館にて開催され、清吟堂吟友会島根女子チームは「舟中子規を聞く」の課題吟で快挙を果たしました。

平成三十年五月六日、雨模様の中、松江護国神社にて厳かに必勝祈願の儀式が執り行われた後、雪の降り積もったような美しいヒトツバタゴの下を通り、島根県民会館へと移動して行われた結団式。出場候補者三十八名一人ひとりが皆の前で決意を表明し、半年後の祝杯をしっかりとイメージしたはず。そのうち出雲ブロックからの参加者は九名。一人も欠けることなく共に本番まで励ましあいながら頑張りましょうと固く約束をしました。

月一回、松江に集まり本部の先生方をお迎えして練習会が開かれました。私のような吟を始めてほんの数々の、武道館の合吟コンクールの重大さもわかっていないような初心者から、何度も参加されてきた、ベテランの先生方まで個性豊かなメンバーがいるわけですから、当初足並みが

揃いにくく、皆の士気もなかなか上がらない状況でしたが、回を重ねるうちに自覚と欲が出てきたのではないかと思います。九月に行われた三瓶青少年交流の家一泊二日の特別研修会(余談ですが、前回の島根女子チームの三瓶合宿の際、たまたまこの施設の職員だった私はこの合宿がきっかけで清吟堂と出会い、その二年後ご縁あって入会したのです!)

では、集中的に練習するだけでなく、文字どおり寝食を共にし、一燈照隅の集いを行い、仲間同士絆をしっかりと深めることができました。それから本番までのわずかな期間に自主的な練習会も行い、次第に気持ちは高まり、結束も固まりました。

そして迎えた、平成三十年十一月十日、爽やかな青空の下の武道館。出番直前に藍田先生のお声掛けで最後の声出しをして、更に心ひとつになり、舞台へと向かいました。何度も繰り返し練習した階段の上り下りも、手を組むタイミングも上手くなり、前奏から本庄さんの、今までの一番の起句につられて本当に気持ち良く、力いっぱい武道館に声を響かせることができました。悔いのない、素晴らしい吟でした。



第50回 全国吟剣詩舞道大会

第三位という結果のみでなく、この度は吟歴の浅い自分にとって、県内の各ブロックの代表の皆さんとの交流や、普段は大会等でしか接することの無い上段位の方の吟を聴く機会など、本当にいい経験の場となりました。自分で言うのも何ですが、この間勉強させていたただいたお陰で、以前より上達したのではないで

しょうか。これは銅メダルとともに自分へのご褒美となったと言えるでしょう。そして、松江での練習後のお茶会、着付けの特訓練習会など、みんなで刺激しあい、約束どおり九人欠けることなく頑張った出雲ブロックの皆さんとの絆は、これからの自分にとっても大切な宝物となるでしょう。

最後になりましたが、ご指導くださいました二神名誉会長をはじめ諸先生の皆様、毎回お世話くださった、役員の皆様、一緒に半年間練習に励み、仲良くしてくださった最高のメンバーの皆さんに心から感謝いたします。本当にありがとうございます。

ぜひまたみんなで更なる高みを目指しましょう!

出雲ブロックからの出場者は
左記の方々でした。

- 佐藤 麗雪 (ラピタ)
- 吉田 麗篤 (稗原)
- 平井 麗翠 (里方)
- 曾田 麗翠 (平田第二)
- 安部 麗雨 (琴引第二)
- 吉川 麗京 (里方)
- 三成 麗歳 (西平田)
- 勝部美穂子 (琴引)
- 錦織 千枝 (里方第二)



偶 感

神名火支部

渡 部 精 風

桜花爛漫の好季節には、
 入学・卒業、会社は入社な
 ど希望にあふれる行事が続
 きます。
 余計な老婆心からかもし
 れません。
 ◎為せば成る、為さねば

成らぬ何事も、成らぬ
 は人の為さぬなりけり
 (上杉鷹山)
 ◎どんな仕事であろう
 と、その道のプロにな
 れ (松下幸之助)
 寿栄の年齢です、何とか
 頑張つて願うことをかなえ
 てほしい一念からです、孫へ。
 縁あって会員の仲間入
 り。年齢をとつても吟は未
 だ道半ばです。近年来、難
 しい環境、状況の中で
 が、素晴らしい吟の魅力
 を展げ、会員増強につなげ
 てゆきたいと念じています。
 昨年は世相を表わす一文
 字が「災」でした。
 西日本豪雨、大阪府北部
 大地震、島根県西部地震と
 多発し、被災者の方々に
 改めてお見舞いを申し上げ
 ます。隣接地の県西部地震
 は被災者の方々にいたく心
 を痛めたところです。復旧
 には行政の支援はもとより
 ですが、地域関係者ほかの
 方々から心温かい懇志(寄
 付)がなされていると承つ
 ています。
 「ありがたい」、「おかげ
 さま」の念で一杯です。

日本は「無縁社会」とい
 われてかなり久しい。他人
 の苦しみ寄り添う優しさ
 が薄れているということ
 でしょうか。
 ふと、童謡詩人金子み
 すずを思い出しました。
 一九〇三年生まれ、一九三〇
 年二十六才の若さで自死。
 恵まれなかった結婚生活

の間に書かれたものを含め
 遺稿五二二編は没後、全集
 として出版された。選者は
 西条八十ほか。みすず記念
 館は山口県長門市仙崎に開
 館。影や敗者に眼差しを注
 ぐ人、苦しんでいる人の心
 に寄り添う心の優しさ、慈
 悲に満ちた強さが偲ばれる。

「大漁」 金子みすず
 朝焼け小焼けだ 大漁だ
 大羽鰻うなぎの 大漁だ。
 濱は祭りの ようだけど
 海のなかでは 何万の
 鰻のとむらい するだろう。



詩吟を始めて思うこと

神名火第二支部

原 千賀子

私が清吟堂吟友会に入会
 したのは、平成二十四年九
 月ですから、六年半余りが
 経過しました。最初は、紹
 介者の方が所属しておられ
 た富支部に入りました。
 その後、自分を中心となつ
 てやらねばならない農業の
 仕事が増えなくなった事と、
 教室が自宅から遠方であつ
 たこともあり、一時期教室
 への出席が悪くなり、先生
 の了解を得て、一年余り前
 に自宅から近い現在の支部

に移つて練習しています。
 私は四十年以上前の若い
 時に安来節などの民謡の会
 に入つており、声を出すこ
 とには慣れているはずす
 が、詩吟を始めて七年目に
 入つた今、詩吟の吟じ方は、
 歌、民謡とは少し勝手が違
 うなという感じを持ってい
 ます。それが何なのか、はつ
 きり分かりませんが、続い
 ている言葉を勝手に伸ばし
 て吟ずる事はできない、い
 わゆる渡りの禁止や、漢詩

に書かれた情景を思い浮か
 べて诗情にあつた吟じ方を
 しなさいなどと、決まりや
 指導が厳格な事などが関係
 しているのかななどと思つ
 ています。
 昨春秋には段位審査が、
 最近二月には育成吟詠大会
 があり参加しました。先輩
 の皆様の吟を聞くと、いつ
 になつたら追いつけるやら
 と思います。
 しかし、一生懸命練習に
 励み、いつか皆様と肩を並
 べられる様頑張りたいと思
 います。
 今後ともどうぞよろしく
 お願い致します。

出西水源地祭りに参加して



斐川支部

多々納 均

私たちが斐川支部は出西コミュニティセンターで月二回、森山清雲先生のご指導のもと厳しさの中にも和気あいあいと研鑽を積んできていますが、この度、出西水源地祭りへの出演依頼がありました。

この祭りは、「斐川六道水道企業団」の水源地が出西にあり、斐伊川の豊かな水の恵みに感謝することを目的とし、地元実行委員会の主催で通水開始の日である八月十一日に開催



元の子どもたちや有志の盆踊り、来賓の長岡出雲市長のあいさつ、窪田神楽に続き我々の出演となりました。

最初は、水源地が地元である平野第二支部の青木溪風さんの独吟、頼山陽作「母を奉じて嵐山に遊ぶ」で、しつとりと情感豊かに吟じられました。

次に、詩吟・高橋行則さん、歌・岩谷麗英支部長による「白虎隊」で、哀切極まる名調子でありました。

三曲目は、服部倫史さんの独吟で、徳川景山作「弘道館に梅花を賞す」を朗々と伸びやかに吟じました。

四曲目は趣向を変え、樋野朝生さんが詩吟入りの「武田節」を雄々しく声高らかに歌い上げました。

最後に、全員で松尾芭蕉の俳句「閑かさや 岩にしみいる 蟬の声」「古池や 蛙とびこむ 水の音」の二句を吟じました。

後で、来場者の若い女性に聞いたところ、意外にも最後の俳句が一番良かったという声があり驚きました。人により感じるどころ

は様々なようです。

今回の出演により、少しでも詩吟の楽しさを感じて興味を持ってもらう人があればうれしく思います。

最後になりましたが、ご

詩吟との日々



平田東支部

橋本 泰明

詩吟を始めて約十年が過ぎようとしています。

父が教室を開いたことをきっかけに清吟堂吟友会に入会させて頂いたのが、この間のような感覚で、月日の流れの速さに只々驚くばかりです。

しく思っています。

現在、平田東支部では、橋本清邦師範を含め四名で、少人数ながら年齢が比

出雲ブロックの皆様をはじめ、詩吟を始めたことで多くの方とお知り合いになったことを嬉

しいです。



較的近いこともあり、和氣
藹々と楽しく詩吟に取り組
んでいます。(前ページ写
真参照)

大きなステージの中央で
お腹から声を出して吟じる
という非日常的な体験は、
気分のリフレッシュやスト
レス解消ができます。又、
漢詩に触れることで想いを

巡らせ教養を深める事な
ど、各々が日々を忙しく過
ごす中である種の清涼剤の
ような役割を果たしている
ような気がしています。
まだまだ未熟者ではあり
ますが、日々精進を目標に、
張り切って練習に取り組ん
でいきたいと思えます。

若くないよ！ 気をつけて



今市支部
須山 昌

七十歳を過ぎてても、これ
と言った常備薬もなく元氣
に過ごしてきた。六十一歳
になった時、息子が益田空
港マラソンに行くと言うの
で、私も三キロに初参加し
ただ。ただ滑走路を往復走る
だけで、満足感が感じられ
なかった。

その後、神戸川土手等で
練習をし、五キロや十キロ
に挑戦。走るならハーフマ
ラソンくらいはと、安来中
海マラソンに挑戦。沿道に

は「頑張れ！頑張れ！」も
う少しだ！との声援に、
歩くが早いくらいの走り
何とかゴール。普通なら、
完走できたから次も頑張ろ
うと思うかもしれないが、
私はもうこの距離が限界。
以後は十キロに挑戦し続け
ていた。が、七十歳で膝に
違和感が出て走りをあきら
め、ウォーキングで楽しん
でいる。

ところが、今年三月に突
然体に異常が発生。県中で

検査をすると、即入院。大
腸が炎症していると云う。
絶食生活一か月。吟士権が
迫って来る。病院では声
も出せずにいたら、「屋上
が有るよ」と聞く。人目を
避けて、退院もせまった時
だったが、誰もいない時を
見計らって練習も少しでき
た。もう少し日数が有るか
ら、吟士権ステージにも立
てそう。絶食から解放さ
れての食事には、思わず両
手を合わせて頂いた。入院
生活では、健康のありがた
さと普通の行動、何でも食
べることが出来る事への感
謝を痛感した。健康に感謝
し、腹の底から吟じられる
喜びを元気の元として、今
後も楽しみたいと思う。



あとがき

四十周年誌編集を含め六
年間広報をお世話頂いた片
寄利風様から、二人が引き
継ぐ事となりました。どう
ぞ宜しくお願い致します。

七年間ブロックを引張つ
て頂いた土江前会長から、
令和への移行に合わせる形
で、橋本新会長へバトンが
渡されました。会員一同、
新たな気持ちで吟道に精進
したいと思えます。

令和の大典となった「万
葉集」梅花の歌序文の冒頭
「初春の令月にして 氣淑
く風和ぎ 梅は鏡前の粉を
披き 蘭は珮後の香を薫ら
す」は、正に吟詠にピッタ
リと思います。

昨年十一月には、清吟堂
吟友会島根県女子チーム
(出雲ブロック九名参加)の
三位入賞の快挙、また本年
四月新聞紙上で、「山陰で
唯一の少壮吟士に関口ゆり
さん(松江ブロック・吟号
麗煌)誕生」は朗報でした。
これらのことは、吟詠界
に心地よい順風を送るもの
と期待しています。

(樋野・石崎)

☆☆☆ホームページ更新のご案内☆☆☆

会報発行により、清吟堂吟友会出雲
ブロックのホームページを6月中旬
に更新します。

アドレスは
<http://s-ginyukai-izumo.la.cocacn.jp/>
(エルイー) です。

お気に入り登録して是非ご覧下さい。

